



Leadership
that shapes the future

“未来を創るリーダーシップ” パトリック・ベティン博士

我々の住む世界は複雑である。未来もまた複雑である。その未来を創るために必要なもの、それはリーダーやマネージャーがこの複雑な世界でどのような役割と責任を果たせば良いかを理解し、実際に行動することである。具体的には、将来のビジョンをみんなで共有すること、何があっても変わらない価値をみんなで共有すること、チームワークを組むこと、創造的であり続けること、常に改善をし続けることが大切であると知ることである。すばらしい仕事を続けるためには、チームのメンバーはお互いにお互いの役割と責任を理解し、どのようにすればみんながチームに貢献できるのかを知ることが絶対に不可欠である。リーダーの仕事とは、チーム内部で相乗効果を作り出し、組織の壁を越えて仕事ができるようにし、良く統合されたチームを作ることである。チームのすべてのメンバーは、その地位に関係なく、リーダーシップに必要な自分の義務というものを理解し、他の人から信頼を得るようにならなければならない。

以前は、リーダーシップと言えば、一方通行で人に影響を与えることだと定義されていた。しかしこの定義では、現代の組織が直面するさまざまな課題に対して十分に挑戦することはできないのである。現代ではリーダーシップの一番大事な仕事は、形を変えることをリードすることであると考えられている。すなわち、現代のリーダーは他の人々、特に同僚や部下に対して、彼らが自分自身の利益を乗り越えて、会社の利益のために行動できるようにしてやらなければならない。さらに現代のリーダーは協力と信頼の気風を作り出し、みんなが強く惹かれる将来のビジョンを作りだし、それを人々に伝えなければならない。また現代のリーダーは高い業績を上げるための方法確立し、高い目標を達成できるという思いを人々に与えなければならない。すなわち、現代のリーダーというのは、相互の信頼に基づいて、組織の内部で共有できる共通の責任というものを作り出さなければならないのである。

このような新しいダイナミックなリーダーが持たなければならない能力というのは、

1. 世の中、あるいは自分自身は何ものであるのか、そしてその現実はどういうものなのであるかが本当によくわかっていること
2. 学び、変えていくときに生ずる避けがたい苦悩を通り抜けるために必要となるきわめて高度な動機付け（モチベーション）を持っていること
3. 実際に学び、変化を起こしていくと、自分も人も不安感にさいなまれるようになる。そのときに自分の感情を制御し、人の心配の面倒を見る力を持っていなければならない。
4. どのような状況が元になって企業文化が成り立っているか分析できること。すなわち、うまく機能している状況とうまく機能していない状況を見分け、企業が持つ強さと機能している状況に基づいて企業文化を構築し、それを拡大していくことができること。
5. 人を巻き込み、人の参加を誘う意思があって、それができること。今の時代、やるべき仕事はあまりにも複雑であり、自分自身で仕事を成し遂げるにはあまりにも幅広く必要な情報が分散してしまっているのである。
6. 人々の知識と能力に基づいて自分が持つ権力と権限を委譲する意思と能力を持っていること。それによって組織全体にリーダーシップが広がっていくのである。

(目的) この本はリーダーのみなさんに、人をリードするとても大切な能力、企画する能力、人に影響を与える能力を磨いてもらう機会を与えるものである。これらの能力を持つことによってリーダーはすばらしい組織の成功を長い時間にわたって作り出し、維持することができるようになる。さらにこの本を勉強する過程でマネージャーの人たちは今までのやり方と違うものを感じるだろう。しかしお互いに意見や経験を交換することで、組織全体のリーダーシップを高めていくことができるのである。

(内容) この本はマネージャーやリーダーに新しい能力を身につけてもらい、潜在能力を高めてもらい、組織の業績を高めてもらうために書かれている。具体的には以下の内容が含まれている。

- ・ 効果的なリーダーシップとは何か
- ・ さまざまなリーダーシップ
- ・ チームワーク
- ・ 組織の統合
- ・ 意思決定と問題解決
- ・ 業績重視の企業文化を創り維持する